

所在地 蓮田市大字黒浜地内

データ H21取得8.7ha

(公財)さいたま緑のトラスト協会HP



交通

- ①JR宇都宮線蓮田駅東口から朝日自動車バス国立東埼玉病院行き、又は江ヶ崎馬場(みずほ団地)行き、又は岩槻駅西口行き約10分「新井団地」下車約0.4km(徒歩約5分)
- ②JR宇都宮線蓮田駅東口から2.5km(徒歩約30分)
- : 駐車場あり

▲第22回コンクール
優秀賞「早春の黒浜沼」

黒浜沼とその周囲に広がるまとまった田園地帯で、沼の周辺には、ヨシ、マコモなどの湿性植物やナガボノシロ(アカ)ワレモコウやジョウロウスゲなどの絶滅危惧種が生育しています。また、約140種類の鳥類が確認されるバードウォッチングのポイントです。

昭和54年に県自然環境保全地域に指定されています。



コハクチョウ

周辺情報

ホタルの里

ホタルの復活を目指して、NPO法人黒浜沼周辺の自然を大切にする会によって作られました。水場の整備やホタルのエサになるヒメタニシを、周辺の水路で定期的に採取して放すなどで、ホタルは年ごとに増えています。

蓮田市環境学習館
(電話048-764-1850)

黒浜沼を知るための写真・パネル展示などの他、自然観察会を開催するなど環境学習の拠点施設となっています。(新設工事のため令和7年7月頃まで休館中)

所在地 上尾市原市地内

データ H24取得4.0ha

(公財)さいたま緑のトラスト協会HP

▲第22回コンクール
優良賞「森への窓口」

上尾市の東部に位置し、周辺には幹線道路や住宅地がある都市近郊に残された貴重な緑です。クヌギやコナラを主体とする雑木林は、武蔵野の原風景を残した優れた自然環境を形成しています。



交通

埼玉新都市交通(ニューシャトル)沼南駅から約1.3km(徒歩約16分)

P:なし

周辺情報

上尾運動公園

(電話048-771-4245)

園内には陸上競技場、県立武道館などの運動施設があるほか、コナラやエゴノキなどからなる樹林が特徴的な公園です。市街地の中の貴重な緑のオープンスペースとなっています。



瓦葺ふれあい広場

(電話048-722-7563)

多目的広場、集会室兼体育室、活動室にて市民相互のふれあいと交流を促進し、利用者の心身の健康の保持及び増進を図ることのできる施設です。





2



メジロ



1



5

地元の小学生と高校生が共同して植樹しました。

上尾鷹の台高校

出入口

案内板

原市の森は平成23年にトラスト保全地に決定したんだ。
都市の中にこれだけの緑が残っているのは、すごいことなんだよ。
シジュウカラやメジロといった鳥類もいて、かわいい鳴き声が聞けるからぜひ散策してみてね。



シジュウカラ



4

おすすめ散策コース(約1km)

出入口→あずま屋→出入口

保全活動

毎月第2・第4土曜日
9:00~11:00



県道さいたま栗橋線

所在地 伊奈町小室地内

データ H26取得4.8ha

(公財)さいたま緑のトラスト協会HP

▲第20回「コンクール
優良賞」(仲良し仲間達)

大宮台地の東端に位置し、コナラを中心とした落葉広葉樹林が広がっています。また西側にはソメイヨシノの並木があり、春には多くの花見客でにぎわいます。

かつて、この地に国際電信電話株式会社(現KDDI株式会社)の無線局「小室受信所」が設置されていたことから、地元では「無線山」の愛称で親しまれてきました。



交通

- ① 埼玉新都市交通志久駅から約0.5km(徒歩約5分)
 - ② JR高崎線尾駅東口から朝日自動車バス伊奈役場行き、又はがんセンター経由伊奈役場行き、又はがんセンター行き約9分「がんセンター北口」下車すぐ
 - ③ JR宇都宮線蓮田駅西口からけんちゃんバス上尾駅東口(日本薬科大学経由)行き約11分「日本薬科大学前」下車すぐ
- 📍:8台

周辺情報

埼玉県県民活動総合センター バラ園(伊奈町制施行記念公園)

(電話048-728-7111)

(電話048-721-2111)

地域づくりに必要なボランティア活動、社会福祉活動、社会教育活動、女性活動、青少年活動などの促進及び県民一人ひとりの生涯学習の充実を図るために作られた施設です。

町制施行記念公園内のバラ園は、約1.2haの敷地に、400種5,000株のバラが植えられています。





無線山・KDDIの森は、昭和9年に国際短波通信の受信所として開設された場所なんだ。受信所は昭和62年に廃止されたけど、およそ80年前に植えられたソメイヨシノが、現在も見事な桜並木として残っているよ。



保全活動
毎月第1火曜日・第3日曜日
9:30~11:30

おすすめ散策コース(約1.1km)
出入口→遺構案内板→
桜並木→出入口

ふじくぼのくさむら
藤久保の平地林

所在地 三芳町藤久保地内

データ H28取得3.0ha

(公財)さいたま緑のトラスト協会HP



- 交通**
- ①東武東上線みずほ台駅西口からライフバス三芳役場経由鶴瀬駅行き約7分「三芳役場」下車約0.2km(徒歩約3分)
 - ②東武東上線鶴瀬駅西口からライフバス三芳役場経由ふじみ野駅西口行き約5分、又は上富経由ふじみ野駅西口行き約8分「三芳役場」下車約0.2km(徒歩約3分)
- 三芳町役場駐車場利用可

▲第26回コンクール
優秀賞(三兄弟の遊び路)

川越街道に近く、周辺開発が進んでいる中で残されたコナラ・クヌギを中心とする大規模平地林です。江戸時代初期に川越藩主 松平信綱が川越街道を整備する際に開拓・植林され、現在まで落葉堆肥を使った循環型農法が行われてきました。



周辺情報

上富いも街道

風情あるケヤキ並木通り(通称:いも街道)には、町の特産品のサツマイモをはじめとしたみよし野菜の直売所や飲食店が立ち並んでいます。



竹間沢こぶしの里

春には白い可憐なこぶしの花、初夏にはホタルが飛び交うこぶしの里。貴重な湧水も流れクールスポットにもなっています。





1

保全活動

毎月第2・4水曜日、
第3日曜日
9:00~12:00

おすすめ散策コース(約1.0km)

散策路入口→オープンスペース
→あずま屋→散策路入口



◀第20回コンクール
佳作「夕刻の輝き」



4



2

●三芳町役場



5



3

江戸時代に新田開発された際に、屋敷地、耕作地とともに平地林も作られたんだ。平地林にはコナラ、クヌギなどを植え、燃料用の薪や農具の材料として利用したほか、落葉や下草は堆肥の原料として活用されたよ。この地域で実践されてきた循環型農法は、平地林の落葉や下草を集め、1年以上かけて堆肥を作り、畑に混入させサツマイモなどの作物を栽培するもので、人と自然が共生する持続可能な農法なんだ。